

令和7年度朝酌小学校の教育

あいさつする子 ささえあう子 くふうする子 みがきあう子



朝酌小学校 本校の教育目標

豊かな心と たくましい実践力をもつ 子どもの育成

合言葉（学校経営4つの重点）

- ① あいさつする子・・・いつでも、どこでも、だれにでもあいさつする。
- ② ささえあう子・・・誰かのために行動する。誰とでも遊べる。
- ③ くふうする子・・・めあてをもってがんばる。
- ④ みがきあう子・・・めあてをもって聴き、自分の事として考える。

令和6年度の児童の姿から（○は令和7年度の目指す姿）

あ いさつする子

- ・元気のよいあいさつを返すことができる。
- ・立ち止まり、目を見てあいさつできる子がいる。

○自分からあいさつできる子。

さ さえあう子

- ・困っている子を助けたり、待たたりすることができる。
- ・他学年の子と遊ぶことができる。

○自分のことが最後までできる子。

く ふうする子

- ・算数などでやり方を粘り強く考える。
- ・学級で行事等に協力して取り組む。

○経験を生かして、自主的に課題に取り組む子。

み がきあう子

- ・話をしっかり聞ける子が多い。
- ・グループやペアでの話し合いで積極的に意見を言える子がいる。

○自分の意見を自分のことばで言える子。

令和7年度 重点目標 **自分から動き出せる子**

1学期「チャレンジしよう」

2学期「1学期の自分をこえよう」

3学期「今の学年を卒業しよう」

今年度の「学校経営4つの重点」具体的な取組

あいさつする子

ふるまい向上

- ・あいさつ運動
- ・生活目標の設定
- ・清掃指導
- ・幼稚園との交流
- ・地域の方との交流
- ・他校との交流

ささえあう子

人権意識を高める

- ・人権週間の取組（各教科の学習を通して）
- ・アンケートQUの活用
- ・教育相談で積極的な児童理解
- ・理解教育

くふうする子

学力向上

- ・学力調査分析に基づく授業改善
- ・ICTを活用した授業
- ・校内研究の取組
- ・書き取り会
計算会
- ・自学指導
- ・読書週間

みがきあう子

よりよい体と生活習慣作り

- ・メディアコントロール週間
- ・マラソンタイム
- ・なわとびタイム
- ・学校保健委員会

本校の教育目標達成の基盤として

(1)「チーム朝酌」意識

- ・個々の専門性を広げ、全体のパワーアップを図る。(教科担任制に近付ける)
- ・仲間のピンチは補い合う。(一部の不安定さを全体に波及させない)
- ・一人で抱え込まない、抱え込ませない。

(2) 全職員のベクトル合わせ

- ・「みんなが知っている」をだいじにする。(情報共有, 報告・連絡・相談)
- ・こどもの良さや変容は声に出す。(同じ目線で支援し評価)
- ・「朝酌スタンダード」を増やしていく。
- ・今年度着任した方は新鮮な感覚を大切に声にだす。それに耳を傾ける。

(3) ピンチをチャンスに！ マイナスをプラスに！ チャンスはいつもそこにある

- ・トラブル, 問題行動は「指導のチャンス」と考える。

(4) 落ち着きの心は整った環境から

- ・目に見えるものを美しく整える。(上ぐつ, 掃除用具, トイレスリッパ, 机上, 黒板, ごみなど)
⇒★見る人にも美しく ★次の人への思いやり 思いをつなぐということ
- ・言語環境を整える。(言葉遣いのチェックと指導 こどもの呼び名は職員間でも「さん」)

(5) こども以上のけじめ

- ・挨拶は大きな声を出す。(おはようございます。いらっしやいませ。おつかれさまです。)
- ・時間と期限を必ず守る。(授業時間, 提出物)
- ・共通理解したことは必ず実行する。⇒職員間の信頼関係, こどものけじめ

(6)「これでよい」より「これがよい」に

- ・気持ちを伝えるのは「連絡帳でよい」から「会って話すのがよい」に
- ・提出や報告の期限は「間に合うのでよい」から「早いほうがよい」に